

令和3年度

虹の坂通信



呉市立昭和南小学校
学校通信 第14号
令和3年7月16日

今年も水泳指導は中止となりましたが、水の事故が起こらないように、夏休みを前に、子どもたち全員を対象に、水難防止教室を行いました。村賀養護教諭が、水難防止学会の指導員の資格を持っているので、講師として低・中・高に分けて3回行いました。

まず、タブレットを使い、川や湖の危険な場所や、流れの特徴などを説明し、その後、もしも水の中に落ちてしまったり、流されたりした場合には、浮いて待つこと、ペットボトルなど浮くものがあれば体に抱けば浮きやすくなることなども説明しました。実際に、体育館で仰向けになって、水に浮いている状態も体験しました。

毎年夏になると、子どもが水の事故で命を落とすニュースが流れます。この夏、川や海に行かれるご家庭もあると思います。学校の水泳がないため、水に親しむ経験は貴重です。子どもたちには、水に入るときは、大人から離れてはいけないと話をしています。保護者の皆様も、子どもたちから目を離すことがないようによろしくお願いいたします。



水の事故にあわないように



浮いて待つ

願いよかなえ

今年も、たんぽぽ学級、おひさま学級のみんなが南小の七夕を企画してくれました。

昨年と同じように、自分たちで短冊をつくり、各学級に持って行き、「自分たちの教室の前に笹を用意するので、みんなで付けに来てください。」と呼びかけました。笹の木も、自分たちで切りに行きました。

南小みんなの願いが4本の笹に結ばれました。

子どもたちの書いた短冊を読んでもみると、「おおきくなったら花屋さんになりたい」「スポーツで勝てますように」「家族が元気でありますように」夢や希望、優しさにあふれるものばかりでした。「コロナが早く終わりますように」という願いもありました。子どもたちの心をもっと大切にしていかなければと思います。

ずいぶんと前から準備してくれた、たんぽぽ学級、おひさま学級のみなさん、ありがとうございました。



みんなの願いがかないますように

